

主題：天の王国の実際の中に生きる

メッセージ 5

神聖な種族の領域としての神の王国の中に生きる

聖書：ヨハネ 3:3, 5-6. 18:36. 1:12-13. II ペテロ 1:4

I. 神の王国は、神聖な統治の領域であるだけでなく、神聖な種族の領域でもあります。

その中にすべての神聖なものがあります——ヨハネ3:3, 5. 18:36 :

- A. ヨハネ第 3 章において神の王国は、神の統治よりも、神の種族を指しています。
- B. 神は人となって、人の種族の中へと入りました。そして人は神格においてではなく、命と性質において神となって、神の神聖な種族の中へと入ります—— 1:1, 12-14. II ペテロ 1:4。
- C. 神聖な領域、すなわち、神聖な種族の中へと入るために、わたしたちは神から生まれて神聖な命と神聖な性質を持つ必要があります——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5-6, 15. II ペテロ 1:4。
 - 1. 神は人の種類にしたがって人を創造したのではなく、神のかたちに神の姿にしがって神の種類、神の種族となるように人を創造しました——創 1:26。
 - 2. 信者たちは、再生によって神から生まれて、神格においてではなく、彼の命と性質において神の子供となります。信者たちはアダムよりもさらに多く神の種族の中にいます——ヨハネ 1:12-13 :
 - a. アダムには内側の実際である神聖な命がなく、神の外観だけがありました。
 - b. わたしたち、キリストにある信者たちまた神の子供たちは、神聖な命の実際を持っています。そしてわたしたちは造り変えられ、わたしたちの全存在において主のかたちに同形化されつつあります——II コリント 3:18. ローマ 12:2. 8:29。
 - c. わたしたちは、第二の誕生である再生によって神の王国の中へと入って、神の種族となります——ヨハネ 3:3, 5-6。
 - d. 神のすべての子供たちは神聖な種族の神聖な領域の中にいます—— 1:12-13. 3:3, 5。
 - e. 信者たちは、神聖な種族における、すなわち、神の王国における神・人です—— I ヨハネ 3:1 前半. ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5。

II. ヨハネによる福音書において、わたしたちは神聖な種族の領域としての神の王国における信者たちの生活の多くの面を見ます :

- A. 「わたしたちはみな、彼の豊満から、恵みの上にさらに恵みを受けた」—— 1:16。
- B. 「彼は……彼らの中に息を吹き込んで言われた、『聖霊を受けよ』」—— 20:22。
- C. 「わたしが与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」—— 4:14 後半。

- D. 「わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる」—— 6:57 後半。
- E. 「わたしがこれらの事をあなたがたに語ってきたのは、あなたがたがわたしの中で、平安を持つためである」、「わたしの平安をあなたがたに与える」—— 16:33 前半、14:27 後半。
- F. 「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛した。わたしの愛の中に住んでいなさい」—— 15:9。
- G. 「これらの事をあなたがたに語ったのは、わたしの喜びがあなたがたの中にあり、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである」—— 11 節。
- H. 「真理を行なう者は光に来る。それは、彼の行ないが、神の中でなされたことが明らかにされるためである」—— 3:21。
- I. 「自分の魂の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の魂の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至る」—— 12:25。
- J. 「だれでもわたしに仕えるなら、その人はわたしについて来なさい。そうすれば、わたしのいる所に、わたしに仕える者もいるのである。だれでもわたしに仕えるなら、父はその人を尊ばれる」—— 26 節。
- K. 「真の礼拝者たちが、霊と真実の中で父を礼拝する時が来る。そしてそれは今である。父はそのように彼を礼拝する者を、捜し求めておられるからである。神は霊であるから、彼を礼拝する者は、霊と真実の中で礼拝しなければならない」—— 4:23-24。
- L. 「わたしの中に住んでいなさい。そうすれば、わたしもあなたがたの中に住む」—— 15:4 前半。
- M. 「あなたがたがわたしの中に住んでおり、わたしの言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる」—— 7 節。
- N. 「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」—— 12 節。
- O. 「それで、主であり先生であるわたしが、あなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合うべきである」—— 13:14。
- P. 「わたしの小羊を養いなさい」、「わたしの羊を牧養しなさい」、「わたしの羊を養いなさい」—— 21:15 後半、16 後半、17 後半。
- Q. 「あなたがたがわたしを選んだのではない。むしろ、わたしがあなたがたを選んだのである。そしてあなたがたを立てた。それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり」—— 15:16 前半。
- R. 「マルタは給仕をしていた。……マリアは、非常に高価で純粋なナルドの膏油一リトラを取って、イエスの足に塗り、自分の髪の毛で彼の足をぬぐった。するとその家は、膏油の香りで満たされた」—— 12:2 後半、3。
- S. 「わたしの父の家には多くの住まいがある。……あなたがたのために、場所を用意しに行くのである」—— 14:2。
- T. 「その日には、わたしがわたしの父の中におり、あなたがたがわたしの中におり、

- わたしがあなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう」—— 20 節。
- U. 「だれでもわたしを愛する者は、わたしの言を守る。そしてわたしの父は彼を愛され、わたしたちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る」—— 23 節。
- V. 「聖なる父よ、あなたがわたしに与えてくださったあなたの御名の中で、彼らを守ってください。それは、わたしたちのように、彼らが一となるためです」—— 17:11 後半。
- W. 「あなたがわたしに与えてくださった栄光を、わたしは彼らに与えました。それは、わたしたちが一であるように、彼らも一となるためです」—— 22 節。
- X. 「わたしが彼らの中におり、あなたがわたしの中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです」—— 23 節前半。
- Y. 「父よ、わたしがお願いするのは、あなたがわたしに与えてくださった者たちも、わたしがいる所に共におり、あなたがわたしに与えてくださったわたしの栄光を、彼らが見ることです」—— 24 節前半。